

## ＜評価の手法等＞

事業名 ( )内は本評価書のうち一部の事業評価において便益の計上に利用した方法を示す。*	評価項目		評価を行う過程において使用した資料等	担当部局	
	費用便益分析				費用便益分析以外の主な評価項目
	便益	費用			
ダム事業 (代替法、CVM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年平均被害軽減期待額</li> <li>流水の正常な機能の維持</li> <li>水質改善効果等</li> <li>残存価値</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設費</li> <li>維持管理費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時の影響</li> <li>過去の災害実績</li> <li>災害発生危険度</li> <li>地域開発の状況</li> <li>地域の協力体制</li> <li>河川環境等をとりまく状況</li> <li>関連事業との整合等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国勢調査メッシュ統計</li> <li>水害統計等</li> </ul>	水管理・国土保全局

## ※便益把握の方法

## 代替法

事業の効果の評価を、評価対象社会資本と同様な効果を有する他の市場財で、代替して供給した場合に必要とされる費用によって評価する方法。

## CVM(仮想的市場評価法)

アンケート等を用いて評価対象社会資本に対する支払意思額を住民等に尋ねることで、対象とする財などの価値を金額で評価する方法。